

JL403XX エアーポールカワサキウルトラ250&LX 組立手順

このたびはエアーポールをお買い上げいただきありがとうございます。
組み立てる前に下記を良く読んで組立をしてください。

箱に入っているパーツを確認します。(1、2、9~11と+ナベビス、スプリングWは組まれています)

NO	品番	品名	数	税別価格/1個
1	JL442XX	ALジョイント-A(ブラウンアルマイト付)	2	2,300 +税
2	JL443X	ALジョイント-BX(シルバーアルマイト付)	1	3,000 +税
3	JL446-CXX	SUSメッキ ヒッチボルト C 角度付	2	2,200 +税
4	JL448-3	丸ベース 面取付 R付黒アルマイト付	2	1100 +税
5	JL448-2	丸ベース 面取り無しシルバーアルマイト付	2	900 +税
6	JL449-50X	連結ボウル着脱ベースプレート(黒)	1	3,100 +税
7	JL449X	連結ボウル シルバーアルマイト付き45Φ用	1	3,500 +税
8	JL451	ポリエチレンワッシャー	4	150 +税
9	JL401X-MPX	メインパイプブラウンボルトツップ付BK45Φ	1	18,500 +税
10	JL4000-XPX	サイドパイプメッキ先端パーツ付ブラック右	1	12,000 +税
11	JL4001-XPX	サイドパイプメッキ先端パーツ付ブラック左	1	12,000 +税
12	JL454	ラバークッション(ボール、L=330mm)	2	600 +税

パイプに付いている交換パーツについてはお問い合わせください。

NO	品番	品名	数	税別価格/1個
13	P06-08	SUSワッシャー-M8	4	9 +税
14	P15-08	SUSナイロンナットM8	2	100 +税
15	P01-8-25	SUSプラスナベ8-25	2	80 +税
16	P02-6-50	SUSプラス皿6-50	2	65 +税
17	P06-06	SUSワッシャー-M6	2	6 +税
18	P15-06	SUSナイロンナットM6	2	62 +税
19	P17-16XX	SUSメッキ タングピン M8-55	1	310 +税
20	6779XX	メッキ リングピン M30 SPRリング	1	150 +税
21	P05-08	SUSスプリングワッシャー-M8	2	10 +税

価格は随時変更される場合がありますのでご了承下さい。

- 組立をする前に完成写真をよく見て、全体のイメージを頭の中で作ってください
各ネジ類を締める際は潤滑剤等を塗付して締めるようにしてください。
各穴部分にはシリコン材を着けてください。

- 使用する工具
◎ドリル(刃6.1ミリと8.1ミリ) ◎スパナ10、13番
もしくはモンキーレンチ ◎ドライバー
◎メジャー、定規 ◎マジックインキ

■ 組立手順

1. 連結ボウル着脱ベースプレートの取付け
艇のデッキ後端から約65ミリのところに着脱ベースプレート後端を置き位置を決めます、着脱ベースプレートを押さえてドリル(刃6.1ミリ)で穴を明け、回りのバリを取り除き上から皿ビス、下からM6ワッシャー、M6ナイロンナットで締めます。
2. サイドの丸ベースの取付け
メインパイプ下部にタングピンとSPリングを使って連結ボウルを取付けます。
その連結ボウルを連結ボウル着脱ベースプレートに差し込みロックピンをスライドさせて固定します。
※ロックピンは最後カチッ!と音がするまでスライド(差し込んで)してください。
D. メインパイプが前後左右垂直に立っている位置でサイドパイプ片側を艇体に押さえ(一人の時はガムテープ等で仮止めします)
E. 反対側をメジャーや直角定規などを使って正確な取付け位置をマーキングします、マーキングした側を同じ要領で押さえ、もう一方もマーキングします、この時左右の位置が対象になるようズレていないよう注意してください。
メインパイプの垂直も再度確認してください。(艇体のステッカーや艇体屈折部などを基点にし計るとよい)
F. 左右のマーキングにドリル(刃8.1ミリ)で穴を明け、回りのバリを取り除きます。
G. 外側はポリエチレンワッシャー、丸ベース(面取り品)、M8ワッシャー、ヒッチボルトの順で締めます。
ヒッチボルトには角度が付いていますのでサイドパイプ先端のヒッチカプラーが掛かる向きで締めてください。

注意: 外側の丸ベース黒は曲げてありますので艇体面にピッタリ合う位置で固定してください。

曲げの谷ミゾ部分がタテ方向の位置でボディー面とフィットします。

ヒッチボルトには角度が付いていますのでサイドパイプ先端のヒッチカプラーが掛かる向きで締めてください。
内側もポリエチレンワッシャー、丸ベース、M8ワッシャーM8ナイロンナットの順に取付けます。
最後にサイドパイプにラバークッションを通しヒッチボルトヘクイックヒッチカプラーを付けて完成です。
ALジョイントの部分の+ナベビス頭が上側にくる向きにサイドパイプを付けてください。

■ 使用上の注意

- ウェイクボード以外は絶対にトローリングしないでください、破損の原因になります。
- 添付してまず取扱注意をよくお読みください。
- トローリングをする前に必ずネジ、ボルト類の点検、締め直しをしてください、緩んだまま使用すると艇体等破損の原因になります。
- トローリングをしない時は安全のため必ずエアーポール本体をはずして走行してください。
- トローリング中は、複数名乗員し後方(ボーダー等)の安全を確認してご使用ください。
- 艇体の肉厚が薄い艇は取付の際注意してください艇体にヒビが入る恐れがあります、その際は使用をやめてください。

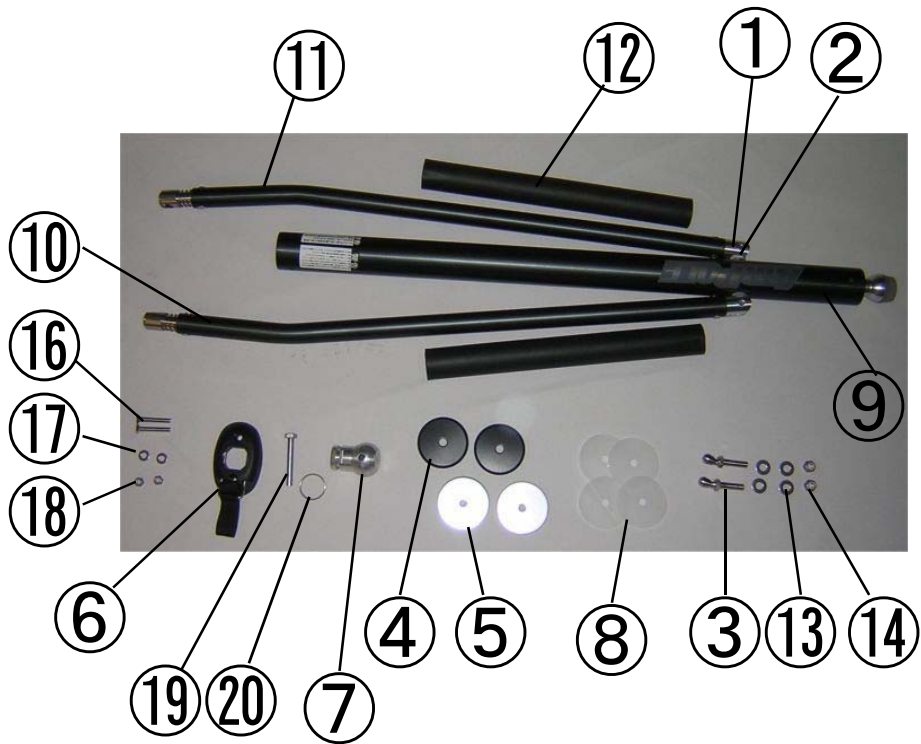
※第三者へエアーポールの転売または譲る際は必ずこの取扱説明書、注意事項書等と一緒に添付してください。

JL403XX ウルトラ



完成写真

●ウェイクボード以外は絶対にトーイングしないでください！破損の原因になります。
 その他使用上の注意をご確認ください。



各ネジ類を締める際は潤滑剤等を塗付して締めるようにしてください。
 各穴部分にはシリコン材を着けてください。

連結ボウル着脱ベースプレートの取付



取り付け位置は艇の後端から約65ミリの中央部のところに連結ホールベースを置き位置決めします。
 ドリル(刃6.1ミリ)で穴を明け、回りのバリを取り除きシリコンを付けビスで固定

ウルトラ用サイドベースの取付



ヨコからの位置は取っ手固定用のビスから写真の方向に約400ミリ



タテの位置はアームハンドルプラスチックパーツから上へ約90ミリ



<左側>
 上記のタテヨコの交点が写真の位置です。



<右側>
 上記のタテヨコの交点が写真の位置です。

注意: 外側の丸ベース黒は曲げてありますので艇体面にピッタリ合う位置で固定してください。
 曲げの谷ミゾ部分がタテ方向の位置でボディ面とフィットします。

艇体取付パーツですので使用している間にネジ、ボルト等のゆるみが生じ、そのまま使用しますと艇体にヒビがはいりますので必ず点検し、ゆるんだ際は増し締めをしてください。

艇体の老化によりポール取付部にヒビ損傷等がでる場合がありますあらかじめご了承ください。

このポールではバナナボート、スキービスケツト、PWC等ウェイクボード以外は絶対にトーイングしないでください。艇体やポールが破損します。

- 万一誤った組立て、もしくは使用方法でのトラブルには応じかねますのであらかじめご了承ください。
- 上記についてご不明の点、取付について不安な方はお買い求めの販売店までお問い合わせください。

(有)ファクトリーゼロ

取扱上の注意事項

ご使用前に必ず熟読しお守りください！ 取扱説明書、パーツ表等は大切に保管してください。



●バナナボート、ビスクット、ジェット等ウェイクボード以外は絶対にトローイングしないでください、破損の原因になります。



●艇体側各取付部にガタツキが生じた場合は即座にトローイングを中止しボルト、ナット等の増し締めをしてください、そのまま使用しますと破損の原因になります。



●トローイング中は、乗員定員内にて複数名乗員しボーダー等後方の安全を確認してご使用ください。



●サイドパイプ式のラバークッションはトローイング中、衝撃等でズれることがありますので必ずパイプ部を握ってください



●サイドパイプ式ではトローイング中クイックカブラーに触れないよう注意してください、万が一カブラーが外れますと艇体が壊れる恐れがあります。

●トローイングをする前に必ずネジ、ボルト類の点検、締め直しをしてください、緩んだまま使用しますと艇体等破損の原因になります。またパイプ取り付け部のピンやカブラーが(半がかりでなく)正しくしっかり装着されているか確認してください。

- 艇体に取り付し試走後、必ず各部ネジ、ボルト類を確認をしてください。
- トローイングをしない時は安全のため必ずエアープール本体をはずして走行してください。
- ポール脱着後は艇体側各取付凸部にご注意ください。
- メインパイプやヒッチポールベース等にジェットランチャー等のランチングフック、ロープ等は絶対にかけないでください。
- ケガ等防止のためドライバー、ボーダー等、乗船時は必ずライフジャケット、グローブ&ブーツを着用の上ご使用ください。
- プレート式ではメインポールを外している時、絶対にベースに手をかけないでください、曲がる場合があります。
- ポールの装着、未装着にかかわらず艇が転倒した際は水が艇内に浸入します、すみやかにメーカー指示通りに艇を復元し帰港してください。
- ご使用後は各部真水で洗い、よく拭いてから保管してください。
- 定期的にエアープールの各部が磨耗していないか等を確認して、磨耗していた時はすみやかに部品を交換してください、そのまま使用しますと事故、破損等の原因になります。
- 万一誤った組立て、もしくは使用方法でのトラブルには応じかねますのであらかじめご了承ください。
- 不明な点、その他お問い合わせありましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。

取扱注意事項

ご使用になる艇本体の取扱説明書を熟読し更に下記事項をご確認ください。
ご使用になるウェイクボードの取扱説明書を熟読してください。

**トーイングをしない時は必ずPWC本体から
エアポールは外してください。
(装着したままでの走行は危険ですのでお止めください)**



<エアポール使用前>

- トーイングを始める前に艇本体の取扱説明書を熟読しウェットスーツ等を着用してください。
- ライフジャケットは体にフィットしたものを着用しベルト等はすき間なくしっかり締めてください。
- エアポールを装着する際は本体、各部のネジ等緩みがないか点検してください。
- バナナボート等ウェイクボード以外のトーイングは絶対しないでください、破損の原因となります。
- 荒天時のトーイングは危険ですので止めてください。
- 飲酒での使用は止めてください。
- ヘルメットの着用については艇本体の取扱説明書をご確認ください。
- メインパイプやヒッチポールベース等にジェットランチャー等のランチングフック、ロープ等は絶対につけないでください。
- 定期的にエアポールの各部が磨耗していないか等を確認して、磨耗していた時はすみやかに部品を交換してください。そのまま使用しますと事故、破損等の原因になります。
- パイプ取り付け部のピンやカプラーが(半がかりでなく)正しくしっかり装着されているか確認してください。

<トーイングをする水域までの行き帰り>

- 最後部座席の方はなるべく前寄りに座りエアポールとの距離をとってください。
- エアポール(サイドパイプ)の上に腰掛けたり背もたれのようにすることは絶対しないでください。
- エアポールに体を近づけると転倒時ウェットスーツやライフジャケットにからむ恐れがあり大変危険です。
- トーイングをする水域までの行き帰りの走行は時速30-40kmにて走行してください。
- 急旋回、急加速は厳禁です。

<トーイング中>

- メインポールに顔を近づけないでください大変危険です。
- エアポール(サイドパイプ)の上に腰掛けることは絶対しないでください大変危険です。
- 後部シート見張り役の方はしっかりと艇体のグラブを握ってください、エアポールはつかまさないでください。
- 使用中やむなく転倒する場合、特に後部座席者はポールに当たる恐れがありますのでポールに当たらぬよう意識し注意して落水してください。
- 使用は海岸、浅瀬、岩場は避け、また他艇のいない広々とした安全な水域でご使用ください。
- 波やウネリのある水域での使用は止めてください。
- 急旋回、急加速は厳禁です。
- ※裏面「エアポール装着時の操船について」もご確認ください。
- 使用中誤って艇が転倒した際は水が艇内に浸入します、すみやかにメーカー指示通りに艇を復元し帰港してください。

<トーイングの後>

- 着岸後エアポールを艇体から外し水洗いして乾かし保管してください。
- その際ピン類をなくさないよう気を付けてください。
- ポール脱着後は艇体側各取付凸部にご注意ください。
- プレート式ではメインポールを外している時、絶対にベースに手をかけないでください、曲がる場合があります。

※万一誤った組立て、もしくは使用方法でのトラブルには応じかねますのであらかじめご了承ください。
※不明な点、その他お問い合わせありましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。
※第三者へエアポールの転売または譲る際は必ずこの取扱注意事項書等も一緒に添付してください。



●エアポールに体を近づけると転倒時ウェットスーツやライフジャケットにからむ恐れがあり大変危険です。



●メインポールに顔を近づけないでください大変危険です。



●最後部座席の方はなるべく前寄りに座りエアポールとの距離をとってください。



●エアポール(サイドパイプ)の上に腰掛けたり背もたれのようにすることは絶対しないでください。



●後部シート見張り役の方はしっかりと本体グラブを握ってください、エアポールはつかまないでください。



エアポール装着時の操船について

①エアポールを使用してトローイングした場合、通常の操船時に比べ艇体バランス(艇後部の沈み込み等)が違います。最初はあまり速度を出さず直線でのトローイングを行い操船感覚に慣れてください。



②次に少しずつウェイクボーダーがターン(艇体の脇に出る)をする際の艇体バランス(艇が傾き横に引っ張られる等)の感覚に慣れてください。そしてボーダーがターンをする時に艇が傾かないように当て舵(ハンドル)をしてバランスを保つ練習をしてください。



③転倒したボーダーに近づく際は十分に速度を落として近づくようにしてください。



- スタート時ボーダーが水中からスムーズに浮いてこない場合はPWCは一度加速を止め、ボーダーはすぐにハンドルを放し、再度初めからやり直してください。長い間水中の状態が続くと怪我、破損の恐れがあります。
- スタートがスムーズに行えない方はスクール等で練習をしてからエアポールをご使用ください。

※エンジン始動中に絶対にトローイングロープの上を走り抜けしないでください。船底にある給水口にロープが吸われエンジン停止の原因になり大変危険です。

●トローイングが終わり乗船する際はデッキ後方より自分の体の重心が艇体の中心にくるように意識して乗り込んでください。(左右どちらかに寄ると艇が傾き危険です)



①



②



③



④

<トローイングロープの付け方>



ループの中に根元の部分を入れます。



根元の部分にできた新たなループをポールトップに引っ掛けしぼって完了です。